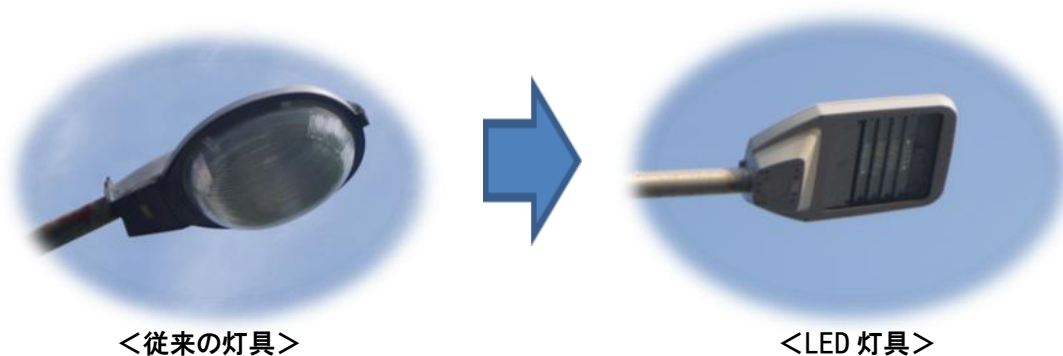


道路照明灯のLED化について

千葉市は、省電力化による財政負担の軽減と低炭素社会への貢献のため、市域全域を対象に、道路照明灯のLED化をリース方式（賃貸借契約）により実施しています。



1 事業概要

環境保全対策や、電気料金などの保守管理費の削減を目的として、市が管理する道路照明灯のうち、特殊な形状のものや、小型照明を除いた約13,100灯を、省エネ効果が高く、寿命も長いLED（発光ダイオード）照明に交換しました。

（平成26年9月1日からリース開始）

交換工事中は一部交通規制等のご協力ありがとうございました。

また、平成27年度においては、デザイン灯を含む、約2,700灯をLED照明に交換します。

（平成28年2月1日・3月1日リース開始予定）

取組の方法としては、初期投資を抑え、予算の平準化を図るよう10年間のリース方式を採用しました。

（道路照明灯とは、夜間における良好な視野の確保による道路交通の安全確保を目的として、交差点や幹線道路等に設置されている照明施設です。）

2 事業効果（試算）

【平成26年9月1日リース開始分の約13,100灯】

- ・電気使用量の削減 798万kwh/年（一般家庭約2,300軒/年）
- ・二酸化炭素の削減 3,700t/年（乗用車約1,600台/年）

【平成28年2月1日・3月1日リース開始分の約2,700灯（予定）】

- ・電気使用量の削減 167万kwh/年（一般家庭約480軒/年）
- ・二酸化炭素の削減 770t/年（乗用車約330台/年）

3 LED化後の状況写真



4 LED化前後の比較



【水銀灯とLED灯の比較（交換工事中の写真です）】
写真左側（上り車線）は水銀灯、写真右側（下り）車線はLED灯です。